

# 平成 28 年度浙江省友好交流レポート（11 月）

浙江省友好交流員 三澤拓巳

半年の留学生活ももうすぐ半分になります。充実した日々を過ごし、時間の流れがあっという間に感じます。季節も移り変わり秋、そしてこれから冬を迎えようとしています。杭州市の冬は大変寒くなるため、とても不安です。体感気温は宇都宮よりも寒く感じるそうです。

また、杭州の冬は雨が多いため雨が降るたびに気温が下がっていきます。つまり、「雨」が冬の訪れを感じさせる一種の指標になります。天気一つを見ても日本と大きく異なるため、ここにも海外生活の面白さを感じます。

先日、浙江大学で期中テストが行われ、数か月間の中国語能力の成果を発揮してきました。私見ではありますが、中国語を学ぶ上では「聞く力」が一番重要に感じます。日本人（漢字文化圏）であるため、漢字を見ると何となく漢字の意味を推測することはできます（日本と中国で若干の意味の異なる漢字もあるため注意も必要ですが）。しかし、「聞く力」は「経験と慣れ」によって向上するものであるため、私も苦勞しています。もちろん、これは私見ではありますが、数か月中国で生活した私の感想です。

さて、今回のレポートのテーマですが「中国の交通」にしたいと思います。日本と中国ではそもそも交通ルールが異なるため、日本人は最初注意が必要です。例えば日本は「左側通行」ですが中国は「右側通行」です。そのため、道を横断するときなど特に注意が必要です（右の写真参考）。



また、かつては「自転車大国」と呼ばれた中国ですが、現在その様相は大きく異なります。今は「電動バイクと自動車」が道の大半を占めます。日本では馴染みのない「電動バイク」ですが、ここ中国では国民にとってなくてはならない移動手段になっています。右の写真が「電動バイク」です。見た目は日本にあるバイクとあまり変わりませんが、バッテリーを充電することによって動きます。つまり、ガソリンを一切使わず排気ガスも出さないエコな乗り物でもあります。人口の多い中国で、このようなエコな乗り物が普及したことは大変すばらしいことだ



と感じました。しかし、一方このバイクは自転車や歩行者と同じ道を走ることもあるため危険もあります。

次に「自動車」についてです。北京での渋滞問題は有名ですが、ここ杭州市も例外ではありません。近年、急激な発展・経済成長によって中国でも上位の大都市になった杭州市では人口増加とそれに伴う自動車の増加によって渋滞が大きな問題になっています。そして、同時に大気汚染問題も少しずつ問題視されています。そのため、杭州市は対策と更なる発展のために地下鉄の整備を進めています。数年後には杭州の多くの地域に地下鉄が整備される予定です（現在は2路線のみ運行しています）。

最後に、たった半年では街の変化を感じることはできないため、またいつか大きく変わった杭州市を見に訪れたいと思います。

以下には今月あった出来事をいくつか紹介します。



最近私のクラスの担任の先生がご結婚され、その先生が私たちにくれた物です。中国では結婚した側が友達や同僚などにこのような品物を渡すそうです。中身はお菓子などです。外国の結婚の際の慣例に触れることができ大変貴重な経験になりました。



この日は、友達に誘われ「浙江大学ゴルフサークル」の活動に参加してきました。ゴルフは全くの素人ですが、中国語の勉強にもなり楽しかったです。



この日はまさかの朝から宿舎の水道が止まり、17時まで復旧しないとわれ、仕方なく栃木県の交流員3人で西湖の近くへ出かけました。天気はあいにくの雨ですが、西湖の近くは大きなデパートや百貨店が多いため、支障なく買い物できます。

結局、水道の復旧は19時でした。